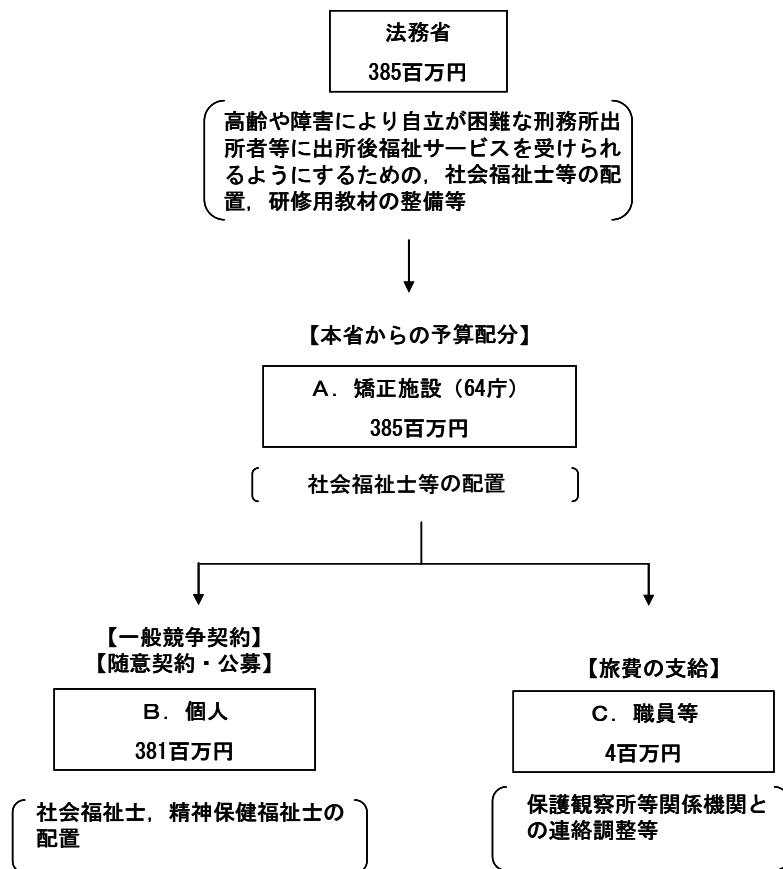


平成25年行政事業レビューシート (法務省)

事業名	地域生活定着支援の推進		担当部局庁	法務省矯正局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	総務課		総務課長 名執雅子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	矯正処遇の適正な実施 Ⅱ-5-(2)矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等		関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑務所出所後の自立した生活の困難な高齢受刑者や障がい等を有する受刑者が、出所後直ちに福祉サービスを受けられるようにするため、刑務所に社会福祉士・精神保健福祉士を配置し、保護観察所や地域生活定着支援センターと連携して、出所後の自立した生活基盤を確保することにより再犯防止を目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高齢受刑者や身体等に障がい等を有する受刑者は、出所後、生活基盤が安定していないため短期間のうちに生活苦に陥り、再び犯罪を犯すおそれが高いことから、出所後直ちに福祉の支援を受けられるように、刑務所に社会福祉士の資格を有する者を配置し、①支援が必要な受刑者の選定、②当該受刑者の福祉ニーズの把握、③当該受刑者が行う福祉サービスの申請手続に対する支援等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	344	336	394	387		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	344	336	394	387		
	執行額	335	335	385				
	執行率(%)	97.4%	99.7%	97.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	社会福祉士等による面接、調整等実施人員(年次)成果実績は、収容人員(対象者)の変動や面接の必要性等により実績件数が変動することから、成果目標と実績を比べて事業の有効性を検証することができない。		成果実績	件	上半期:1,382 下半期:1,726	上半期:1,919 下半期:2,076	上半期:1,764 下半期:1,795	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	福祉による支援を必要とする刑務所出所者等の福祉的ニーズの把握、保護観察所等との連絡調整等の地域生活定着支援を実施している。		活動実績 (当初見込み)	施設	64施設	64施設	64施設	-
				施設	64施設	(64施設)	(64施設)	(64施設)
単位当たりコスト	108,020(円/人)		算出根拠	平成24年度実績額384,443千円/平成24年度調整等実施人員3,559人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	庁費	41						
	収容業務旅費	5						
	護送旅費	6						
	被収容者旅費	1						
	収容諸費	334						
	計	387						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	受刑者等の地域生活定着支援であり、その実施主体は国にあり、出所者等の再犯防止に繋がる地域生活定着支援は広く国民の利益となる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	受刑者等の地域生活定着支援に繋がる社会福祉士等の雇用や職員の研修実施に必要な教材等の整備、関係機関等の連絡調整に必要な経費の支出である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	高齢・障がい等により、特に自立が困難な刑務所等出所者に対し、出所後に福祉サービス等を受けられるよう、特別調整等の実施件数を伸ばしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>刑務所に配置する社会福祉士、精神保健福祉士については、ハローワーク等を通じて公募を行った上、各施設において非常勤職員として採用し、高齢受刑者や障がいを有する刑務所出所者等が出所直ちに福祉サービスを受けられるように、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第26条による都道府県知事への通報、保護観察所や地域生活定着支援センター(平成24年3月末 全都道府県に設置済)等関係機関との特別調整対象者(平成24年9月末までに1,513名を選定)等に係る連絡調整、療育手帳や身体障害者手帳等の福祉サービスの申請などの地域生活定着支援事業を適正に実施しており、円滑な社会復帰、再犯防止に寄与している。</p> <p>平成23年度からは、地域生活定着センターが全都道府県に設置されたことから、社会福祉士の配置の拡充を行った。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0039	平成23年	0036	平成24年	0039

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	各会計機関への予算配布	385			
計		385	計		0
B.個人			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	社会福祉士の配置	4			
計		4	計		0
C.個人			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	4	公募	-
2	個人B	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	4	公募	-
3	個人C	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
4	個人D	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
5	個人E	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
6	個人F	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
7	個人G	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
8	個人H	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
9	個人I	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-
10	個人J	被收容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
2	個人B	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
3	個人C	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
4	個人D	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
5	個人E	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
6	個人F	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
7	個人G	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
8	個人H	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
9	個人I	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
10	個人J	被收容者への福祉的支援のための、保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-